

普及センターだより

いぶり



第25号

発行
平成30年3月

ヤングファーマーミーティング '17 in 室蘭開催!!



熱心に運営・発表・報告をする青年達



伊達農業青年隊の舟迫さんと(左)とACとうやの木村さん(右)

胆振管内の農業青年グループが一同に会し、日頃の実践活動で身につけた農業や農村生活の改善発表と情報交換を行う『ヤングファーマーミーティング』がH29年12月11日に胆振総合振興局にて開催されました。

いずれの発表も素晴らしく、発表を聞いている参加者らには新たな意欲がわき上がっていました。最優秀賞には伊達青年隊の舟迫さんとACとうやの木村さんが選ばれ、二人はH30年1月18～19日に札幌で開催された全道青年農業者会議への発表者として派遣され、木村さんがアピール賞を受賞しました。



地域のトピックス1

安平町

『イアコーンを使った地域おこしの取組』

■イアコーンとは：飼料用とうもろこしの雌穂(実、芯、包葉)のことです。一部あるいは全てを材料とし、濃厚飼料として使います。全道各地、様々な畜種・用途で利用が広がっています。

■取組の経緯・目的：安平町では(株)スキットが栽培(畑作経営)を行なっています。高齢化・人手不足による農地拡大に対応するべく、省力的な作物の導入を検討したことがきっかけです。導入により農家経営にゆとりが生まれました。

■これから：耕種農家としては農地集約への対応のために、畜産農家としては輸入飼料の価格変動に強い経営をするためにあるいは付加価値を高めるために、イアコーン栽培・利用が必要となる場面があると考えております。そして安定的・効率的に栽培・利用するべく、様々な課題解決に向けて支援を行っています。今回は地域内での利活用事例を紹介します。

1. 白老の採卵鶏業者への供給



左から(株)スキット社長、(株)グランファーム社長、同マネージャー

粉碎した子実の供給を平成28年度から行っており、卵の評判は良く、今後規模拡大し取り組む予定です。

2. 「馬歯酒」の原料供給



馬歯酒と原料のとうもろこし

あびら観光協会が主体となりイアコーンを用いた焼酎「馬歯酒」を造りました。原料とするには、通常栽培より厳しい基準が求められるので、その影響についての調査を行いました。今後は色・香りなどの品質を高めるべく試験を行います。

胆振管内

『いぶり・ひだか有機ネットワーク研修会開催』

いぶり・ひだか有機農業ネットワークでは毎年研修会を開催しています。今年度は3回の集合研修を行いました。1回目は7月に西胆振(壮瞥町・洞爺湖町)の会員農場で、中央農業試験場の研究員と管内で先導的に有機栽培に取り組む農業者を講師に招き、土づくりについて現地検討会を行いました。2回目は10月に長沼町へ行き、種苗会社と新規就農者の農場を視察しました。種苗会社では野菜の新品種や品種特性について、新規就農でアスパラ生産を行っている農場では、就農から現在までの道のりや、栽培上、特に重視している点についてお話を伺いました。3回目はH30年2月に日胆農業会館(苫小牧市)にて、夏にも好評だった土づくりについて座学と意見交換会を開催いたしました。いずれの研修会においても参加者の熱心な姿勢が伺われました。



7月現地検討会



10月長沼町への視察

いぶり・ひだか有機農業ネットワークは毎年夏冬に研修会を開催しています。広く研修会への参加を受け入れていきますので、興味のある方は是非、普及センターまでご連絡下さい。



平成29年度 北海道指導農業士・農業士認定者の紹介

胆振管内では、新たに指導農業士1名、農業士2名が認定されました。
農業・農村の担い手の育成・確保、地域の振興の牽引役として今後の活躍が期待されます。

北海道指導農業士

つばき あや こ
椿 文子さん
(むかわ町)
個人経営・施設野菜

北海道農業士

しろ はた かつ のり
城 畑 克考さん
(安平町)
個人経営・酪農



こ にし ゆう たろう
小 西 祐太郎さん
(安平町)
法人経営・畑作

普及センターの活動報告**むかわ町****『肉牛飼養技術の継承を目指して』**

普及センターは、むかわ町春日地区で重点普及活動に取り組んでおり、活動の一部として「肉牛秘伝の書」の作成を地区の農業者と共に行っています。

「肉牛秘伝の書」とは、春日地区の肉牛経営農家の飼養技術を体系的にマニュアル化したもので、肉牛経営を希望する新規参入者が同地区で就農した場合に活用してもらうことを目的に作成しています。

作成に当たっては、農業者から詳細な聞き取りと現地調査を中心に、今年度も育成牛の発育測定や草地の植生、収量の実態調査を行い多くの貴重なデータを収集できました。

今後も普及センターは、長年培われた肉牛飼養技術を次世代に継承するため、「肉牛秘伝の書」の完成に向けて活動を続けていきます。



春日地区で発育測定を実施中



農業者からの詳細な聞き取り

地域のトピックス2

壮警町



- 平成26年9月7日結婚
- 工藤 貴昭君 (28才)
- 工藤 晴香さん (28才)
- 工藤 陽葵ちゃん (1才)

のため」・「地域のため」に頑張らなくてはと考えるようになった。周りの農家は高齢者が多く、空いた畑地を借りて現在よりも規模拡大を目指していく。とにかく、いつでも笑いあって、何があっても明るく仲の良い家庭を築きたい。

『おら頑張るぞ〜!』 工藤 貴昭さん・晴香さん

晴香さんは登別市出身でお仕事は看護師さん。共通の友人からの紹介で知り合った。晴香さんは“初めて会ったのになんて話しやすい人”、貴昭君は“可愛くてなんて笑顔がすてきな人”とお互いを感じ取った。彼女は人並み以上の落ち着きと家庭的な雰囲気を持ち合わせている。一緒にいるうちになぜかしら自然と結婚を意識し始め、交際開始から1年半後にプロポーズ。この時ばかりは、今までの人生で一番ドキ・ドキした。結婚後も看護師として病院で勤務していたが、妊娠をしてからは専業主婦に・・・。

結婚3年目、長女・陽葵(ひまり)ちゃんに恵まれ、現在は育児を中心に主婦業に専念し農作業は手伝っていない。今までは、自分のために頑張ってきた。これからは「家族



豊浦町

『夫婦で二人三脚！豊浦町で農家として本格始動!』

木村 佳晶さん・香菜子さん

結婚して4年目の木村佳晶さん、香菜子さん夫妻。佳晶さんは札幌出身、広島県海運会社で働き、農業とは縁のない生活を送っていました。農地確保のため道内を巡っている時に豊浦町にある(株)サクラ農園の親方と出会い、そこで就農を決意しました。

香菜子さんは広島県出身で、大手人材派遣会社で農業研修を担当していました。その農業研修の時に佳晶さんと出会いました。



佳晶さんは「すごく、かわいい子」と香菜子さんに一目ぼれ。一方、肩幅が広めのスーツ姿はイケてない感じだったと言う香菜子さん。名刺を渡されていた香菜子さんは佳晶さんと連絡をとって話してみると海外での経験や話題の豊富さで、イケてない人から楽しい人へ変化して交際に発展しました。そして、2014年に結婚し、北海道へ。2017年からは(株)サクラで働く傍ら、桜農園を開業して1haのカボチャを夫婦で栽培し、オリーブも試験的に栽培しています。

胆振農業改良普及センター

本 所

〒052-0021 伊達市末永町147番地
TEL: (0142) 23-3195・FAX: (0142) 23-2074
E-mail: seiiburi-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp

東胆振支所

〒054-0051 勇払郡むかわ町文京1丁目6番地
TEL: (0145) 42-2528・FAX: (0145) 42-5597
E-mail: toiburi-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp